

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会  
杵島農業改良普及センター

「麦作情報（第4号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「麦作情報（第4号）」を送付しますので、業務の参考にして  
ください。この情報はホームページ [https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00323270/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00323270/index.html) に  
も随時公開しています。

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R4 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R4 (hr)	平年比 (%)
2月	1	5.0	4.4	-0.6	10.1	8.9	-1.2	0.4	0.5	0.1	9.5	0.0	0	21.2	17.3	82
	2	5.4	5.8	0.4	10.6	10.0	-0.6	0.7	1.9	1.2	9.9	0.0	0	21.8	21.0	96
	3	6.0	7.7	1.7	11.2	12.6	1.4	1.1	3.5	2.4	11.3	6.0	53	22.3	19.4	87
	4	6.5	3.8	-2.7	11.9	7.6	-4.3	1.6	0.3	-1.3	12.8	15.0	117	23.4	29.9	128
	5	7.2	3.3	-3.9	12.6	8.9	-3.7	2.1	-2.0	-4.1	13.7	0.0	0	24.4	40.6	166
	6	7.7	6.8	-0.9	13.1	14.0	0.9	2.6	-1.4	-4.0	8.8	0.0	0	14.7	23.9	163

- ・ 2月の気象状況は、平均気温は平年にくらべ1°Cほど低く、降水量は21mm（平年比29）、日照時間は158時間（119）と、平年より低温多日照で干ばつ傾向で推移した。
- ・ 2月20日～2月28日までの最低気温は氷点下を記録している。（2月24日の最低気温-3.4°C）

2. 生育概況

- ・ 11月中下旬播種されたものは、3月4日現在大麦、小麦ともに7～8葉期を迎えており茎立ち期をすでにむかえている。
- ・ 12月初旬播種されたものは、大麦、小麦ともに6～7葉となっており、節間伸長始期～茎立ち期となっている。
- ・ 12月中下旬播種されたものは、現在、3～4葉となっており有効分けつ期となっている。
- ・ 一部の圃場では下葉に大麦網斑病の発生がみられている。

※2月中下旬の凍霜害により、小麦を中心に上位葉から次葉にかけて葉身や葉鞘にアントシアンの蓄積による紫黒色を呈している圃場を散見する。展開葉の異常などの症状も見られている。確認されている圃場の特徴としては、土壌pHが低く（5.0以下）根量が少ないなど、本年は気温が低く乾燥傾向が続いたことで、様々な条件が重なり肥効吸収量が小さく生育量が小さい株が顕著に現れている。その後、3月気温の上昇と降雨により生育は回復している。



品種名	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉令 L	葉色 SPAD	備考
シロガネコムギ 11月28日播種	18.9	491	6.1	48.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本葉6葉目が展開中 (緩やかに出葉枚数が展開している)</li> <li>・幼穂長2mm、節間長5mm</li> <li>※幼穂形成始期 2/23頃</li> <li>※節間伸長始期 3/1頃</li> </ul>
はる風ふわり 11月20日播種	21.5	575	7.8	48.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本葉7～8葉目が展開中 (緩やかに出葉している)</li> <li>・幼穂長2mm程度 節間長28mm程度</li> <li>※幼穂形成始期 2/10頃</li> <li>※節間伸長始期 2/16頃</li> <li>※茎立ち期 3/2頃</li> </ul>
サチホゴールド 12月1日播種	19.7	830	8.0	45.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本葉8葉目が展開中</li> <li>・幼穂長4mm程度 節間長12mm程度</li> <li>※幼穂形成始期 2/13頃</li> <li>※節間伸長始期 2/20頃</li> </ul>
はるか二条 12月1日播種	22.3	771	7.4	47.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本葉7葉目が展開中</li> <li>・幼穂長5mm程度 節間長25mm程度</li> <li>※幼穂形成始期 2/15頃</li> <li>※節間伸長始期 2/20頃</li> </ul>
ユメサキボシ 11月16日播種	27.4	792	8.5	46.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本葉8～9葉目が展開中</li> <li>・幼穂長6mm程度、節間長32mm程度</li> <li>※幼穂形成始期 2/5頃</li> <li>※節間伸長始期 2/10頃</li> <li>※茎立ち期 2/26頃</li> </ul>

### 3. 今後の管理

- ・ 今後の管理としては、降雨による湿害を防ぐため、排水口の増設と排水溝を整備し、早期落水に努める。
- ・ 出穂以降の降雨による湿害防止のため、畝間を整備し表面排水を促すことと、生育に応じて土入れをこまめに行う。

#### (1) 排水対策

- ・ 根腐れや湿害防止のために、溝（畦間）を枕部分まで通すなどして、排水溝の整備を入念に行う。
- ・ 麦類の発根力は最高分げつ期から節間伸長期（おおむね7～8葉期ころ）が最も高いとされている。今後の根の活性維持のためにも排水対策は重要な作業である。



#### (2) 肥培管理

- ・ 12月下旬播種された麦の穂肥は、成熟期の遅延を招き、品質低下や倒伏の危険性があるので絶対に施用しない。

#### (3) 麦踏み・土入れの実施

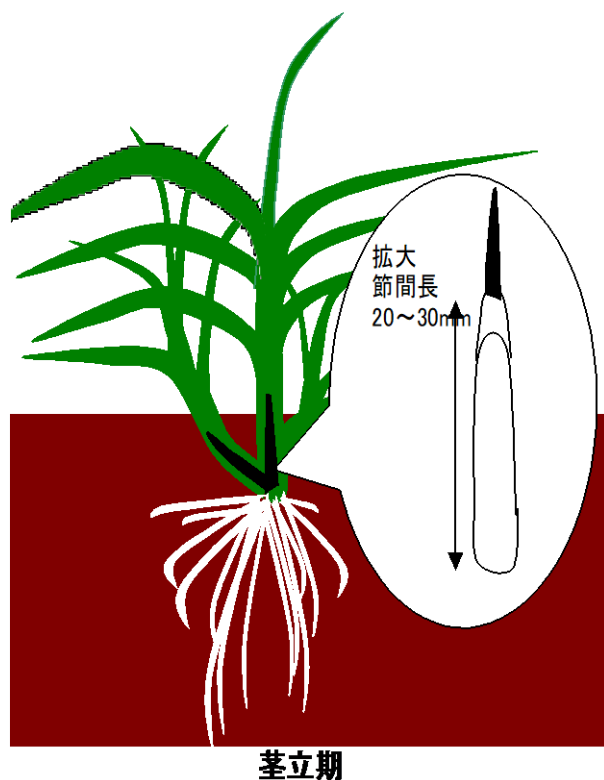
- ・ 麦踏みの晩源は茎立ち期（下位節間長3cm）前までであり、12月中旬までに播種された麦は、すでに晩源に達している。

○茎立ち期以降は、茎折れや穂の裂傷につながり、穂数減となるため、麦踏みは行わない。

※茎立期については小麦出穂期予想（九州沖縄農業研究センターHP）参照

[http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo\\_fukuyama/WEB/wheat/index\\_mugi.html](http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo_fukuyama/WEB/wheat/index_mugi.html)

- ・土入れは、湿害回避と排水対策及び雑草防除を兼ねて時期を逃さず麦の生育が旺盛な圃場ではやや厚めに実施する。また、生育量が少ない場合ではやや少なめに調整する。本葉5～6葉期から、圃場の条件をみながら計画的に実施する。



#### 【節間伸長始期】

茎の節間が5mmとなったとき（葉齢は7葉期）。  
節間が伸長し、幼穂が地上部近くに上がってくる。

#### 【茎立ち期】

節間伸長期から2週間程度経過した時で、節間が3cmに達し、幼穂が地上部に上がってきたとき。

この時期になると麦踏はできない。

幼穂凍死の危険が高くなる。

茎立ちが早いときなどは、幼穂保護のため土入れを実施する。

※令和4年産の草丈は平年より低く推移している。  
（生育期間が低温乾燥で推移したため）

令和4年産麦類の

茎立ち期における草丈の目安は20～25cm程度

#### （4）雑草防除

- ・ 近年、ミチヤナギなどタデ科の雑草が増加しています。
- ・ 雑草が多発生している圃場では、播種直後剤（土壌処理剤）のみでは十分に抑えることができない可能性があります。発生がみられる場合は生育期処理剤との体系処理を行ってください。
- ・ 使用する薬剤によっては、すでに処理晩限を過ぎている剤もあります。登録内容に準じて実施する。
- ・ **除草剤散布後は、以下のことに注意する**
  - ①「**麦踏み**」は、除草剤散布後に薬剤の影響で葉が黄色くなっている場合、麦へのダメージが大きいので控える。また、除草剤散布直前に麦踏みをするとう茎葉が痛み、薬害を生じる場合がある。
  - ②「**土入れ**」を、除草剤散布後すぐ行くと、雑草の蒸散作用が抑制され有効成分の根部吸収が妨げられるので控える。（特にステージの進んだ雑草の場合は十分に間隔をあける）

### (5) 大麦の酸性障害

- 大麦の酸性障害は、下葉の黄化と生育遅延が症状としてみられる。  
発生した圃場については、土壌 pH 測定を行い、次年度以降定期的に播種前に石灰資材を施用する。酸性による黄化が発生した場合、石灰資材 60～100kg/10a を表層施用する方法もあるが、土壌表層施用のみのため、根障害改善につながらず効果はあまり期待できない。



### (5) 大麦の網斑防除

- 網斑病の発生を確認されている圃場では、症状の進展状況を確認して適期防除につなげる。

農薬名	適用病害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	総回数	使用方法
チルト乳剤 25	網斑病	1000 倍	60～150L	収穫 21 日前まで	1 回	散布

### (6) 鳥獣害対策（カモによる食害）

- 右の写真のような被害がみられたら「カモ」による食害である。
  - ①麦の地際部まで草刈機ではらったように切れている
  - ②周辺に鳥のふんが落ちている。
- カモ対策としては、「のぼり」や、「テグス」などの対策が効果があると言われている。

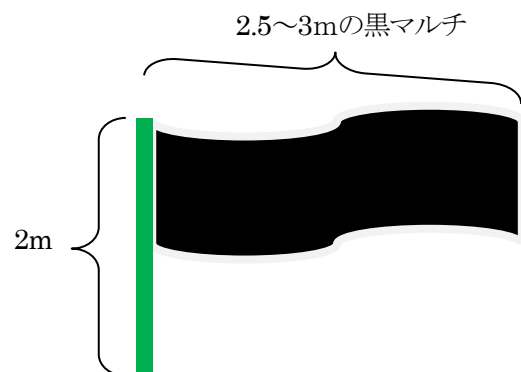


【カモによる食害】

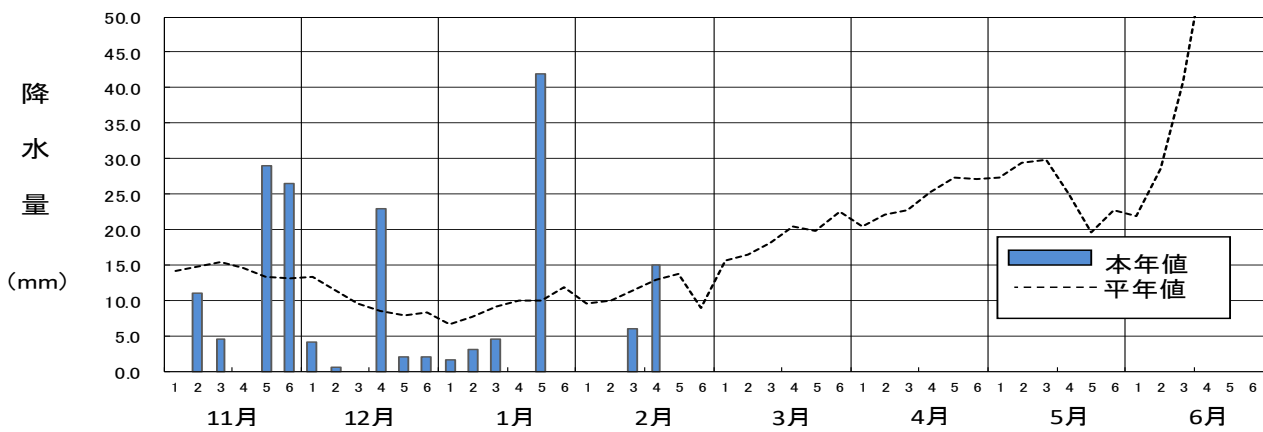
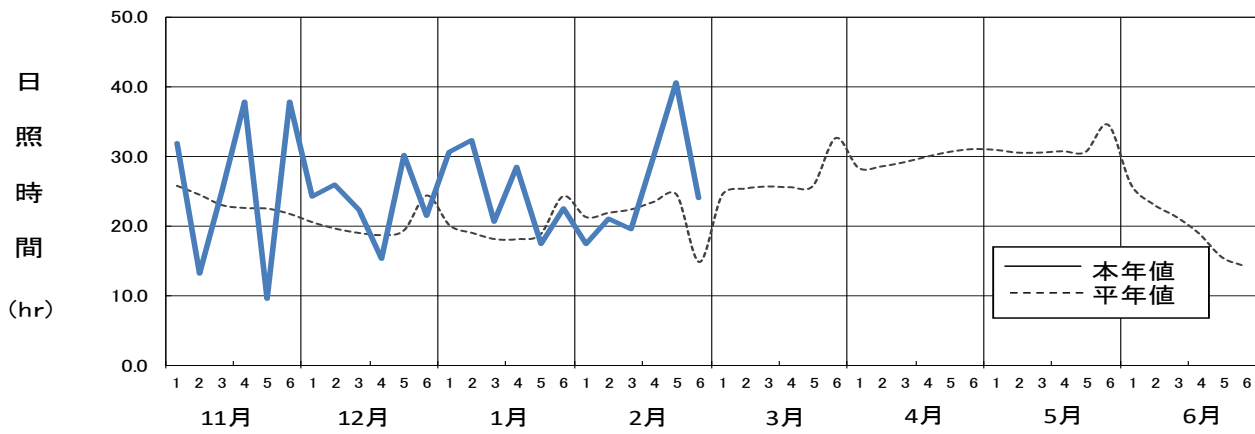
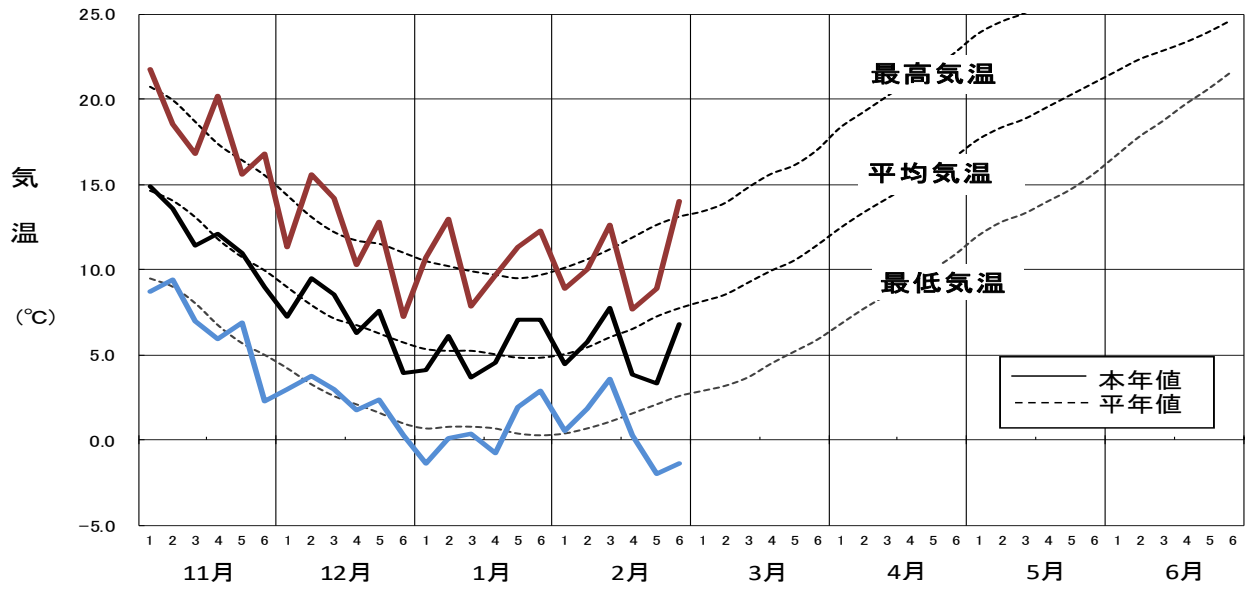
～「のぼり」の設置方法～

- 2mの支柱 に、2.5 ～ 3.0mの黒色のマルチ をつるした「のぼり」を、
- 10a あたり 5 本均等 に設置する。

※「のぼり」は、マルチの長さや支柱の高さが短かったり、10 a あたりの「のぼり」の本数が少なすぎると効果が低減します。



令和4年産 麦類作付期間気象図  
アメダス観測値(白石)



月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
	平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R4 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R4 (hr)	平年比 (%)
11月	12.3	12.0	-0.3	18.1	18.3	0.2	7.3	6.7	-0.6	86	71	83	140	155	111
12月	7.0	7.1	0.1	12.2	11.9	-0.3	2.4	2.2	-0.2	59	32	53	121	139	115
1月	5.0	5.4	0.4	9.9	10.8	0.9	0.6	0.5	-0.1	54	51	95	117	161	137
2月	6.2	5.2	-1.0	11.5	10.1	-1.4	1.3	0.6	-0.7	71	21	29	128	152	119

※平年値:1991~2020